

静岡県主催

令和8年度 障害福祉事業所の生産性向上支援研修 就労継続支援 A 型・B 型事業所対象

昨今のエネルギー・原材料価格の高騰や円安の進行に伴う物価高、下請け業務の減少など障害福祉事業所を取り巻く厳しい環境に的確に対応するため、静岡県内の事業所を対象に生産性向上を図る研修を開催します。

今年度は、下請け業務に関する工程改善の手法や営業スキルの習得を目的とする『請負事業編』と食料品分野を中心とした自主製品の生産管理・製品改良やマーケティングの知識習得を目的とする『自主事業編』の2部構成になります。

なお、今回のオンライン研修を受講された事業所の中から希望する事業所を対象として、後日、専門家（中小企業診断士）による個別の事業所訪問（伴走支援）を実施する予定です。過去2年間で、伴走支援を受けた事業所からは、「活気と収益向上」につながったというお声もいただいています。

開催日時 令和8年 **8月28日** **金**
13:30~16:30

請負事業編

講師 **佐々木 雅子 氏** 社会福祉法人すずらんの会
ワークショップ・SUN 施設長
<https://www.suzuran.or.jp/faci-sun.html>

自主事業編

講師 **河津 志保 氏** 社会福祉法人小国町社会福祉協議会
サポートセンター悠愛
大豆工房小国のゆめ 施設長
<http://www.oguninoyume.jp/#sec-flow>

工賃向上のポイント解説

講師 **稲山 由美子 氏** 株式会社FVP 取締役

- 開催方法 ウェビナーによるオンライン開催
- 参加費 無料
- 定員 オンラインのため制限なし
- 申込方法 オールしずおかベストコミュニティのHP内にある
セミナー申込受付フォームよりお申し込みください。
右のQRコードからお申し込みいただけます。



<https://www.all-shizuoka.or.jp/seminarlist/fukushi/wage/1997605/>

- 申込締切 8月21日（金）17時

令和8年度 障害福祉事業所の生産性向上支援研修

研修概要

オリエンテーション	13:30～ 13:40	研修目的・プログラム説明 導入解説・事例事業所講師の紹介	株式会社FVP 取締役 稲山 由美子氏
事例講座 請負事業での経営改善事例	13:40～ 14:40	・請負事業で経営改善を図った事業所の事例発表 (質疑応答を含む)	社会福祉法人すずらの会 ワークショップ・SUN 施設長 佐々木 雅子氏
休憩	～14:45		
事例講座 自主製品事業での工賃向上事例	14:45～ 15:45	・食品製造等で工賃向上の成果を上げている事業所の事例発表 (質疑応答を含む)	社会福祉法人小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛 大豆工房小国のゆめ施設長 河津 志保氏
休憩	～15:50		
工賃向上のポイント解説	15:50～ 16:30	・事例の振り返り ・工賃向上の基本的な考え方 ・事例の活かし方 ・まとめ	株式会社FVP 取締役 稲山 由美子氏

講師（事業所）紹介

請負事業編

佐々木 雅子 氏 社会福祉法人すずらの会 ワークショップ・SUN 施設長

神奈川県相模原市にある多機能型事業所（就労系事業はB型、就労移行）を運営。

受注作業、施設外就労で平均工賃45,000円超の実績を上げている。生産性向上のためのさまざまな工夫と利用者の習熟により、受注力を絶えず向上させてきた。軽作業の中でも企業の状況や環境変化により内容は変化しており、企業の要望に応じて信頼を得ている。

自主事業編

河津 志保 氏 社会福祉法人小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛 大豆工房小国のゆめ施設長

熊本県阿蘇郡小国町にある多機能型事業所（就労系事業はA型、B型、就労移行を運営）

生産活動として、高齢者等向け配食サービス農福連携レストラン「すずかれん」を運営。農福連携と6次産業化プロジェクト（豆腐・揚げ・味噌等の製造販売）木工・陶芸・草木染等を行っている。荒廃農地を活用した大豆栽培、豆腐製造、おからを餌にした養鶏、食肉加工など循環型事業により、ノウフク・アワード優秀賞（2024年）を受賞している。

工賃向上のポイント解説

稲山 由美子 氏 株式会社FVP 取締役

就労継続支援A型事業所の経営改善、就労継続支援B型事業所の工賃向上に関するコンサルティング、研修、調査等実績多数。工賃3万円達成を目指す自主企画のプロジェクト「いい働く場づくり隊プロジェクト」を6年にわたって実施、成果を上げている。

伴走支援参加事業所 事例紹介

令和6年度参加

社会福祉法人遠江学園 みなみ

遠江学園みなみは自然との共生を柱にする基本理念のもと、和綿栽培や糸つむぎ・縫製・織物・柿渋染めなどの自主製品や浜松市内の公園掃除などの施設外就労に取り組んでいます。自家栽培している綿花を最大の強みとし、綿花全体を大切な原材料として取り扱い、利用者個々の能力を活用しながら作業全体を利用者全員で連携して取り組むことを助言していただき、作業の細分化と作業手順の見直しを行いました。

その結果、本人の希望をとりながら、与えられた持ち場を最後まで取り組む姿勢がみられました。今後は、商品に付加価値をつけ、ブランドとなるように施設全員で自信を持って取り組みたいと思います。



令和7年度参加

社会福祉法人クーブ クーピース

事業所が抱える問題に対して、ぴったり合った内容で、悩んでいた私たちの背中を押してくれました。特に株式会社FVPの「売上高拡大戦略」は原価削減戦略から、値上げの決断をすることができました。そしていざ値上げを執行するにあたり、はらから福祉会の「付加価値」の具体例の話が浮かび、商品に付加価値を付けたことで自信をもって値上げをすることに繋がりました。伴走支援では、課題を分析していただき、取り組む内容の提案、収益向上策のご指導を受けることができました。簡単な取り組みからのスタートがすぐ効果に現れ、この支援のすばさを実感できました。

伴走支援を受けられたことにより、お店に活気と収益向上をもたらしてくれました。

